

IPC（国際パラリンピック委員会）は、「スポーツを通じ、障害のある人にとってよりよい共生社会を実現する」ことを理念として、スポーツを通じて社会の変革を推進し、インクルーシブで多様性のある社会を実現することを目指しています。この目標達成のために、パラリンピックのビジョンとして「パラリンピックアスリートが、スポーツにおける卓越した能力を発揮し、世界の人々に勇気と感動を与えることができるようにすること」を掲げています。生徒たちがオリンピック・パラリンピックに関して学ぶことを通じて、スポーツへの主体的な参画意欲を深め、生涯の体力向上や余暇活動につながることを期待しています。

ボッチャ

パラリンピック種目にもなっている「ボッチャ」の授業を、昨年度から保健体育を中心に取り組んでいます。どの学年の生徒も初めて経験しましたが、全員で楽しみを味わえるスポーツでした。身体よりも頭脳を鍛える側面が強い「ボッチャ」ですが、チームで協力することも一つの醍醐味です。1年生は、学校休業日になる直前の週から取り組み、



グループに分けて、少人数でも取り組めるスポーツであることから、比較的小さめの部屋でも、実施できました。
コートをつくり、さあ、第1投。さて、結果は…。



どのボールに当たれば、高得点につながるか。周囲からも声をかけて、みんなで応援中。
投げる時は「お静かに！」

(令和2年2月28日)



部活動でも実施しました。2年生の先輩が1年生の後輩に、白、赤、青のそれぞれの色のボールの得点が何点かを教え、合計点を数えています。

(令和2年2月14日)